

# ROKIN DISCLOSURE

2018

北海道労働金庫  
ディスクロージャー誌

# 〈ろうきん〉は あたたかな“環(わ)”から生まれた はたらく人の夢と幸せをかなえる 生活応援バンクです。

〈ろうきん〉は、はたらく人たちがお互いを助け合う、あたたかな“環(わ)”から生まれた“はたらく仲間の金融機関”です。その基本とする姿勢も、社会的な役割も、暮らしに役立つ商品やサービスも、すべてがはたらく人の生活の視点から発想されたものです。

〈ろうきん〉は、ビジョンとして「会員・地域・利用者とのつながりによる『しあわせの循環』の創造」を掲げ、はたらく人たちの夢をかなえる金融機関＝生活応援バンクであり続けたいと考えています。

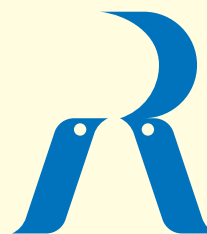


## 北海道ろうきんの概要

名 称	北海道労働金庫
所 在 地	札幌市中央区北1条西5丁目
設 立	1951年5月19日
代 表 者	理事長 工藤 和男
常 勤 役 職 員 数	768人
店 舗 数	37店舗（出張所・仮想店舗含む）
出 資 金	3,259百万円
団 体 会 員 数	2,739会員
間 接 構 成 員 数	391,739人
預 金 残 高	983,279百万円
貸 出 金 残 高	673,171百万円
自 己 資 本 比 率	9.20%
リ ン ク 管 理 債 権 比 率	0.53%

※各種数値は2018年3月末現在

## シンボルマーク



〈ろうきん〉のシンボルマークは、ROKINの頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、親しみやすさを表すとともに、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、はばたく鳥は、より発展する〈ろうきん〉の飛翔を表現しています。シンボルマーク・カラーはブルーです。〈ろうきん〉ブルーは「知性」「未来」「希望」を表現しています。シンボルマークには、〈ろうきん〉の基本理念が表現されています。



## ごあいさつ

理事長 工藤 和男

平素より、私ども北海道労働金庫に対して、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本および北海道の経済は、緩やかな回復基調を維持しているとされているものの、海外経済の不確実性などもあり、先行きが見通しづらい環境といえます。また、内外の金融環境を見渡すと、低金利環境が継続しており、金融機関の収益環境はより厳しさを増しています。

このような環境下で遂行してきた2017年度は、前回中期経営計画(2015～2017年度)の最終年度として、「全てのはたらく人の夢と幸せをかなえるため、不変と変革に積極的に挑戦する」という中期のビジョンに基づき、役職員一丸となって目標達成に向け事業活動に取り組んでまいりました。その結果、年度末の預金残高・貸出金残高・当期純利益は3年前に設定した計数目標を上回り、全体的には計画水準に達することができたと評価しています。

取り組みの一端を紹介させて頂くと、住宅ローンの商品力向上のため「会員における保証料の無料化対象商品を拡大」とするとともに、「非正規労働者向けのパッケージ商品」や「教育ローンによる奨学金借換」などの労働金庫ならではの取り組みを、会員・推進機構と一体となって展開しました。改めて、会員・推進機構のご支援とご協力に感謝を申し上げます。

さて、2018年度から新たな経営計画である「長期ビジョン(～2024年度)」「中期経営計画(2018～2020年度)」がスタートしました。これらの新経営計画では、前回中計のキーワードであった「資金循環」や「未来への環」などを継承するという考えのもと、長期ビジョンには「会員・地域・利用者との繋がりによる『しあわせの循環』の創造」を掲げ、中期経営計画のキーワードを「つなぐ」としました。金融機関にとっては不透明な環境が継続する中ではありますが、共に運動を進めていただいております会員・推進機構の皆様と想いを共有しながら、各種取り組みを進めてまいります。

なお、2018年4月にJCA(日本協同組合連携機構:Japan Co-operative Alliance)が発足しました。経済がグローバル化する中で、貧富や機会の格差とその拡大、社会の分断や孤立などが世界的に問題となっています。それに加え、日本社会は、人口減少・少子高齢化、地方の活力低下など様々な課題に直面しており、行政だけではこれらを解決することは困難な状況にあります。このような状況の中、国連は、2012年を「国際協同組合年」としたうえで、スローガン「協同組合がよりよい社会を築きます」を掲げ、また、2015年9月の国連サミットでは「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択し、協同組合をその達成にあたり役割を果たすべき民間セクターの一つとして位置づけています。さらに、2016年11月には、国連教育科学文化機関(ユネスコ)は「協同組合の思想と実践」を無形文化遺産に登録しました。このように、社会的な課題を解決する仕組みとして、国際社会の中における「協同組合」の評価は高まっています。当金庫も、これらの動きに連動し、持続可能な地域のより良い暮らしや様々な課題解決に向けた取り組みに、金融面から積極的に参画していく所存です。

ここに、当金庫の経営方針や事業の状況をご案内するために、「北海道労働金庫ディスクロージャー誌2018」を作成しました。多くの皆様にご高覧いただき、当金庫に対するご理解をより一層深めていただければ幸いです。

2018年7月

ごあいさつ	1
<b>ろうきんの理念</b>	
ろうきんの理念と基本姿勢	2
<b>北海道ろうきんの概要</b>	
2017年度業績ハイライト	6
長期ビジョン(～2024年度)・	
中期経営計画(2018～2020年度)の概要	8
2018年度事業計画	10
社会的責任と貢献活動	11
トピックス	15
北海道ろうきんの健全性・安全性	16
リスク管理体制	17
コンプライアンス(法令等遵守)態勢	20
業務の適正を確保するための	
体制・運用状況(内部統制システム)	22
<b>営業のご案内</b>	
預金商品・資産運用商品のご案内	24
融資商品等のご案内	26
各種サービス・業務のご案内	28
主な手数料一覧	30
<b>プロフィール</b>	
北海道ろうきんの組織	32
あゆみ	33
<b>ネットワーク</b>	
北海道ろうきん店舗一覧	34
北海道ろうきん自動機一覧	36
<b>財務データ</b>	
財務諸表	38
資産内容の開示	43
経営指標	46
預金に関する指標	47
貸出金等に関する指標	48
有価証券に関する指標	49
その他業務	50
出資金・	
常勤役員一人当たり一店舗当たり預金・貸出金	51
連結情報	52
自己資本の充実の状況	57
<b>索引</b>	
開示項目一覧	67